

2014年3月期 決算説明資料

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2014年3月期は“13F”となります。

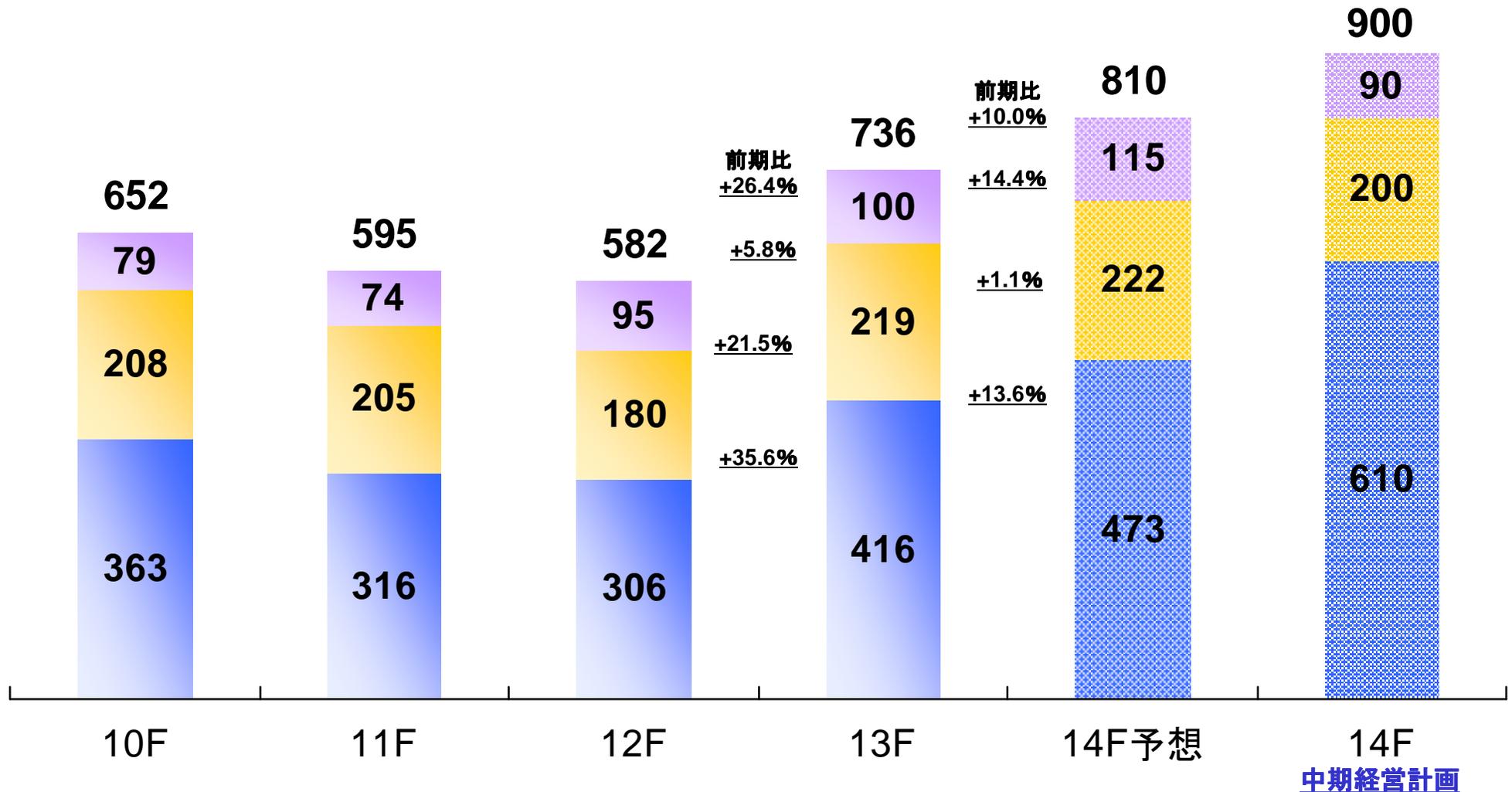
	12F		13F		前期比 増減額	14F予想		前期比 増減額
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)		金額	売上高比 (%)	
売上高	58,270	100.0	73,641	100.0	+15,371	81,000	100.0	+7,358
売上原価	40,927	70.2	50,425	68.5	+9,498	55,400	68.4	+4,974
売上総利益	17,342	29.8	23,215	31.5	+5,872	25,600	31.6	+2,384
販売費及び 一般管理費	15,286	26.2	16,382	22.2	+1,095	17,800	22.0	+1,417
営業利益	2,056	3.5	6,833	9.3	+4,776	7,800	9.6	+966
営業外損益	1,045	1.8	1,164	1.6	+119	300	0.4	▲864
経常利益	3,101	5.3	7,998	10.9	+4,896	8,100	10.0	+101
税金等調整前 当期純利益	2,893	5.0	7,986	10.8	+5,092	8,100	10.0	+113
当期純利益	1,598	2.7	5,437	7.4	+3,839	5,500	6.8	+62

※ 14F想定為替レートは JPY 105/USD、JPY 140/EUR

連結売上高推移

(億円)

■ コンピュータ用モニター ■ アミューズメント用モニター ■ その他



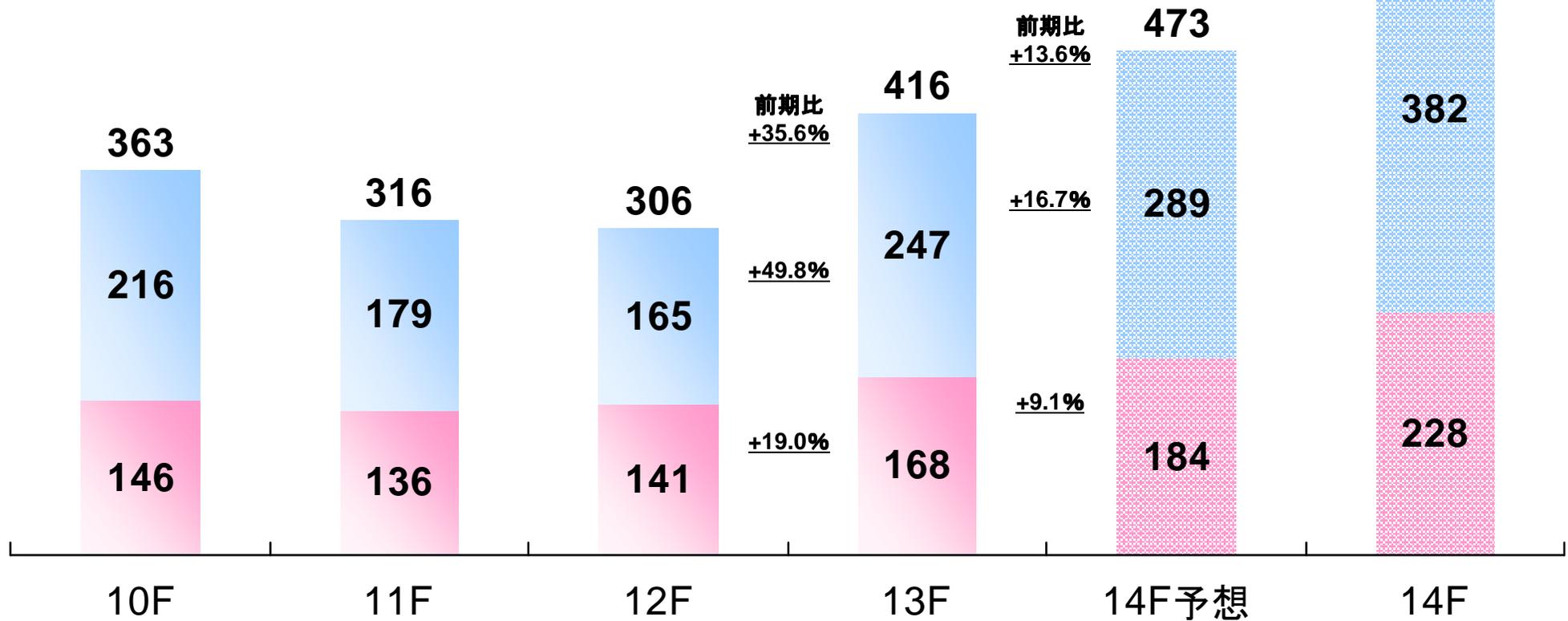
品目別売上高推移(1) コンピュータ用モニター

(億円)

■ 国内 ■ 海外

・海外売上は、欧州販売子会社の販売体制を強化したことや医療市場向けモニターの販売が良好であったことに加え、海外景気の持ち直しや円安を背景に前期比で増収となった。また、前期はAvnet社からEIZO Europe GmbHへの販売業務移管期間であり2012年7月までは本格的な販売はできずに売上は減少したが、当期は年間通して販売活動を行ったことも前期比の増収の要因となっている。

・国内売上は、医療市場向けをはじめとする特定用途向けモニターの売上が増加したことに加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等により汎用モニター等の売上が好調に推移し、前期比で増収となった。



中期経営計画

EIZO株式会社



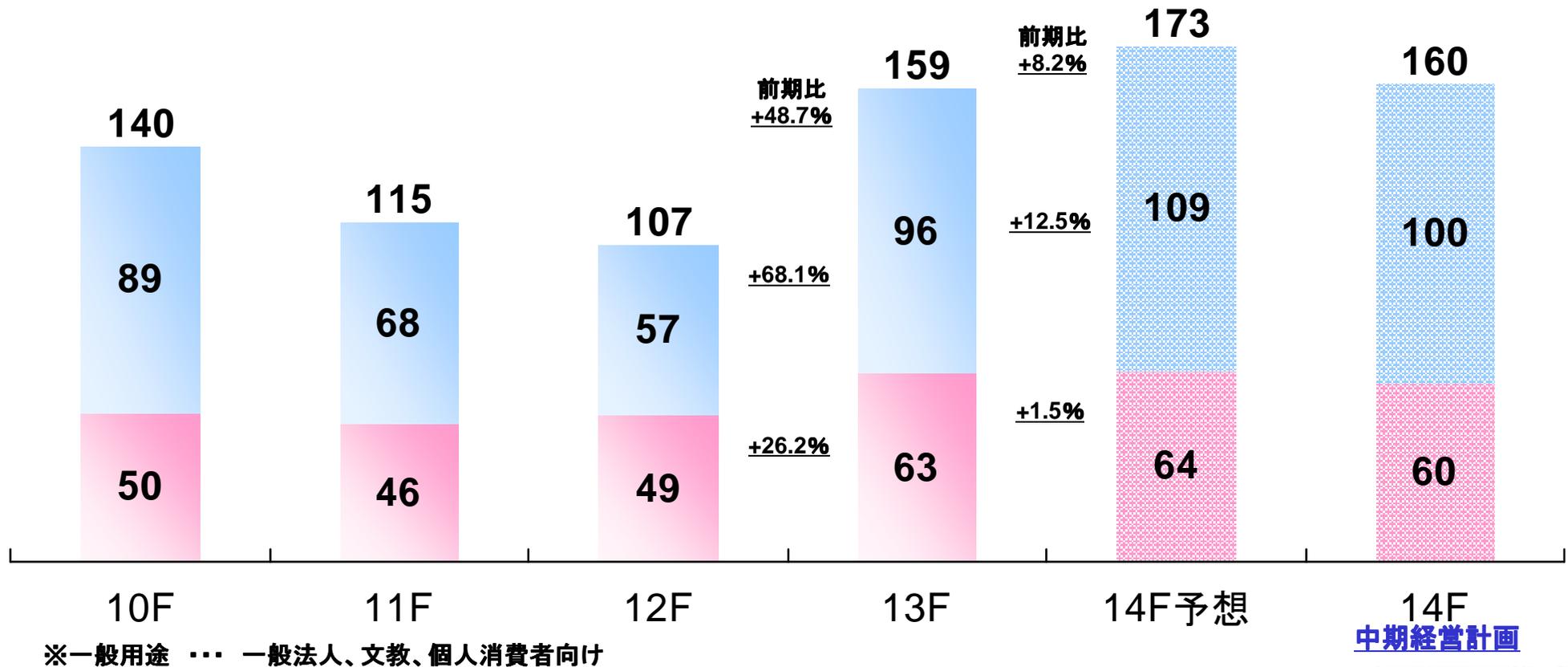
品目別売上高推移(2)

コンピュータ用モニター うち一般用途

(億円)

■ 国内 ■ 海外

- ・海外売上は、欧州販売子会社の直接販売体制によるマーケティング・販売強化により売上は増加し、前期比で増収となった。
- ・国内売上は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等により売上は増加し、前期比で増収となった。



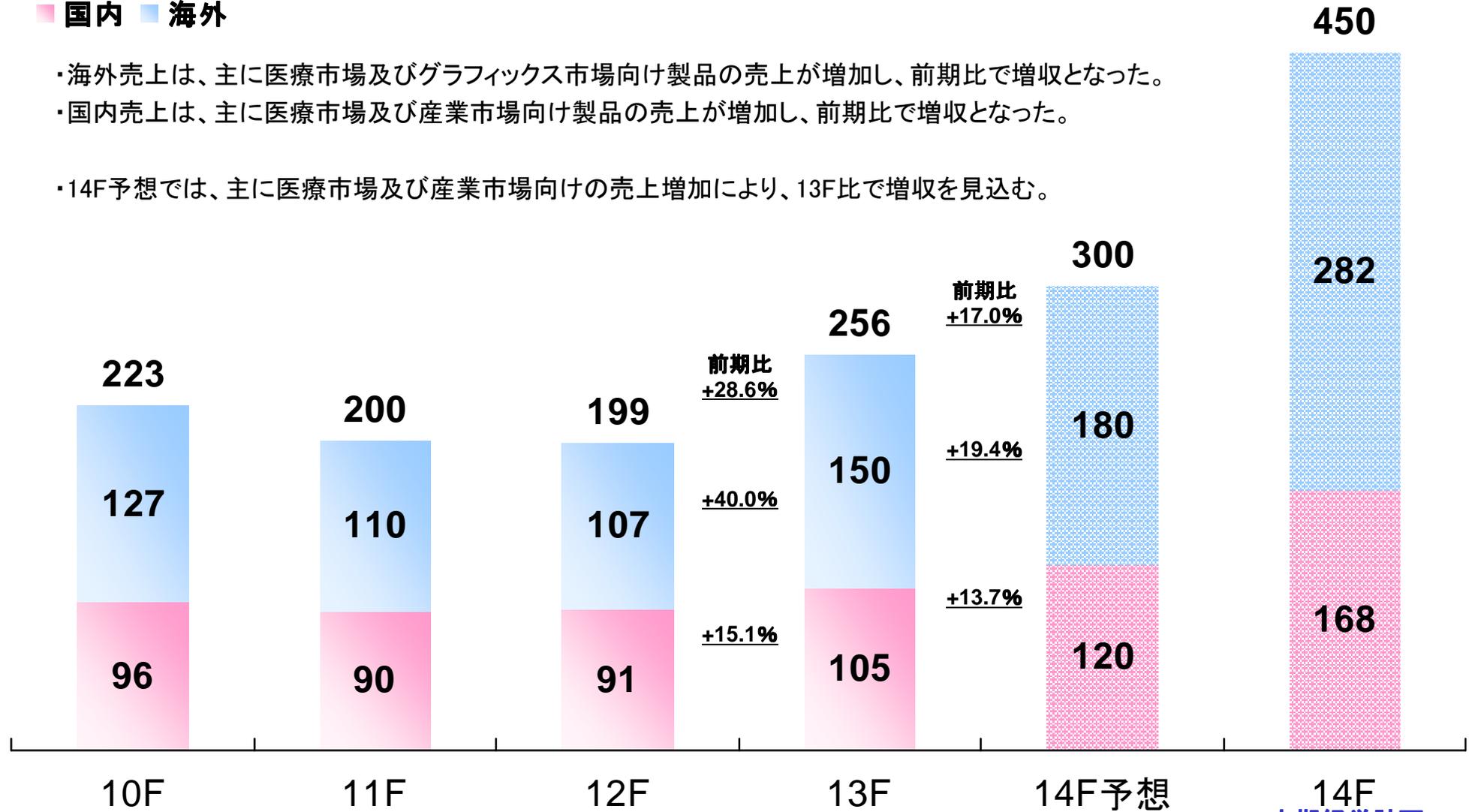
品目別売上高推移(3)

コンピュータ用モニター うち特定用途

(億円)

■ 国内 ■ 海外

- ・海外売上は、主に医療市場及びグラフィックス市場向け製品の売上が増加し、前期比で増収となった。
- ・国内売上は、主に医療市場及び産業市場向け製品の売上が増加し、前期比で増収となった。
- ・14F予想では、主に医療市場及び産業市場向けの売上増加により、13F比で増収を見込む。



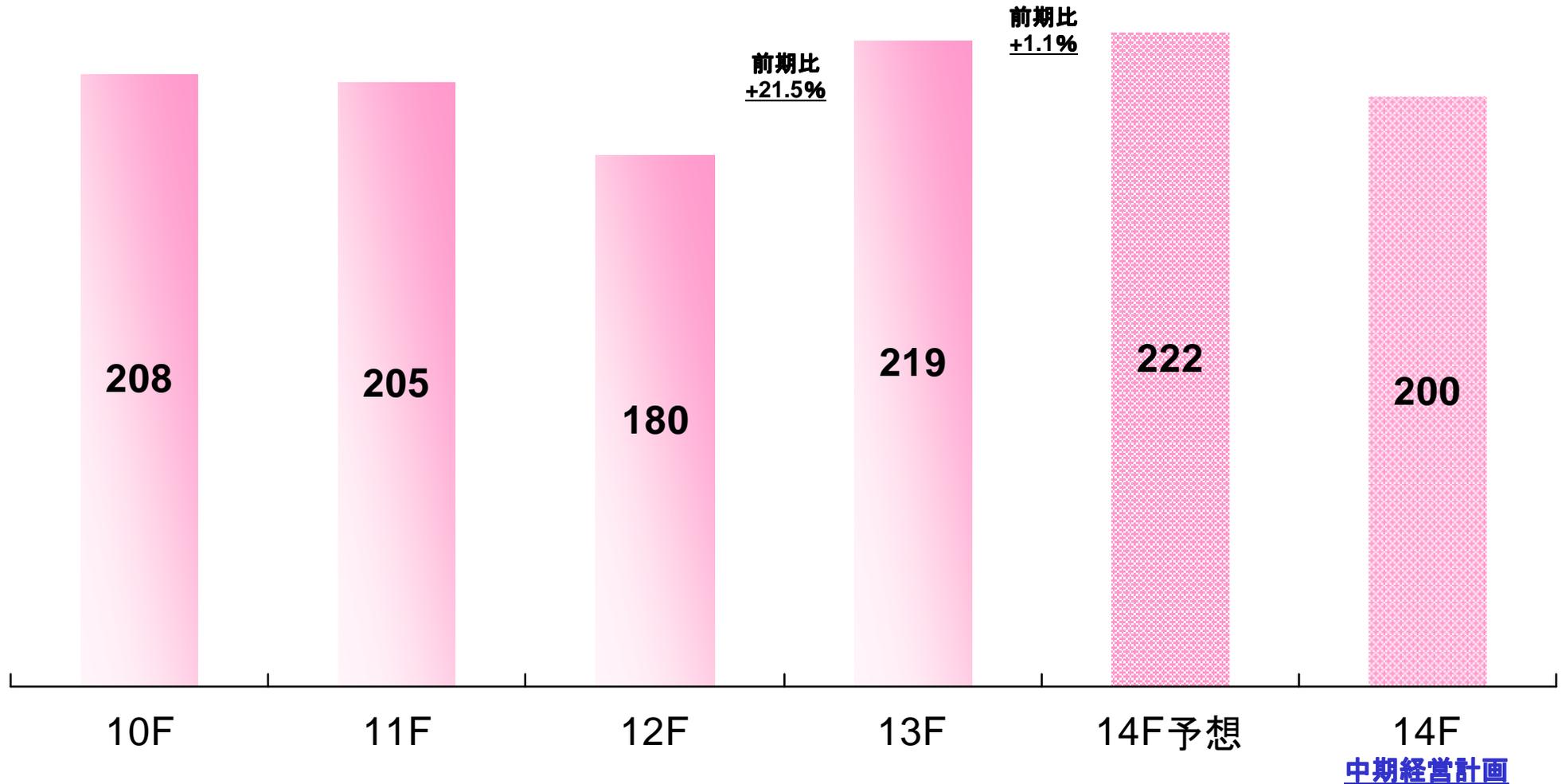
※特定用途 … 医療、グラフィックス、産業、航空管制(ATC)用途向けなど

中期経営計画

EIZO株式会社

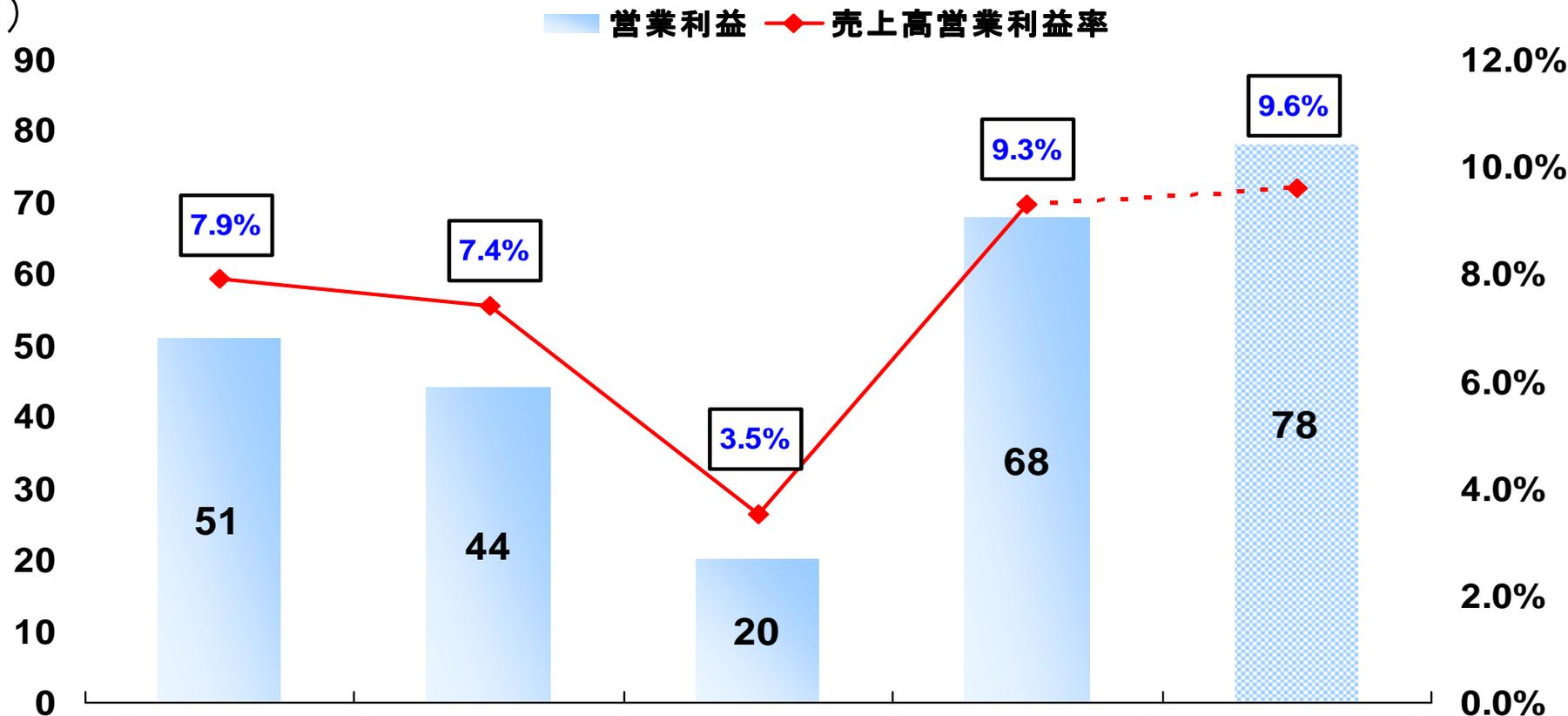
(億円)

当期は新機種の販売が増加したことから前期と比べ、増収となった。



営業利益推移

(億円)



	10F	11F	12F	13F	14F 予想
ROA (%)	6.9	5.8	4.0	9.3	8.7
ROE (%)	6.1	2.8	2.7	8.3	7.9
DOE (%)	1.9	1.9	1.8	1.8	1.8
EBITDA (億円)	77	51	44	97	99

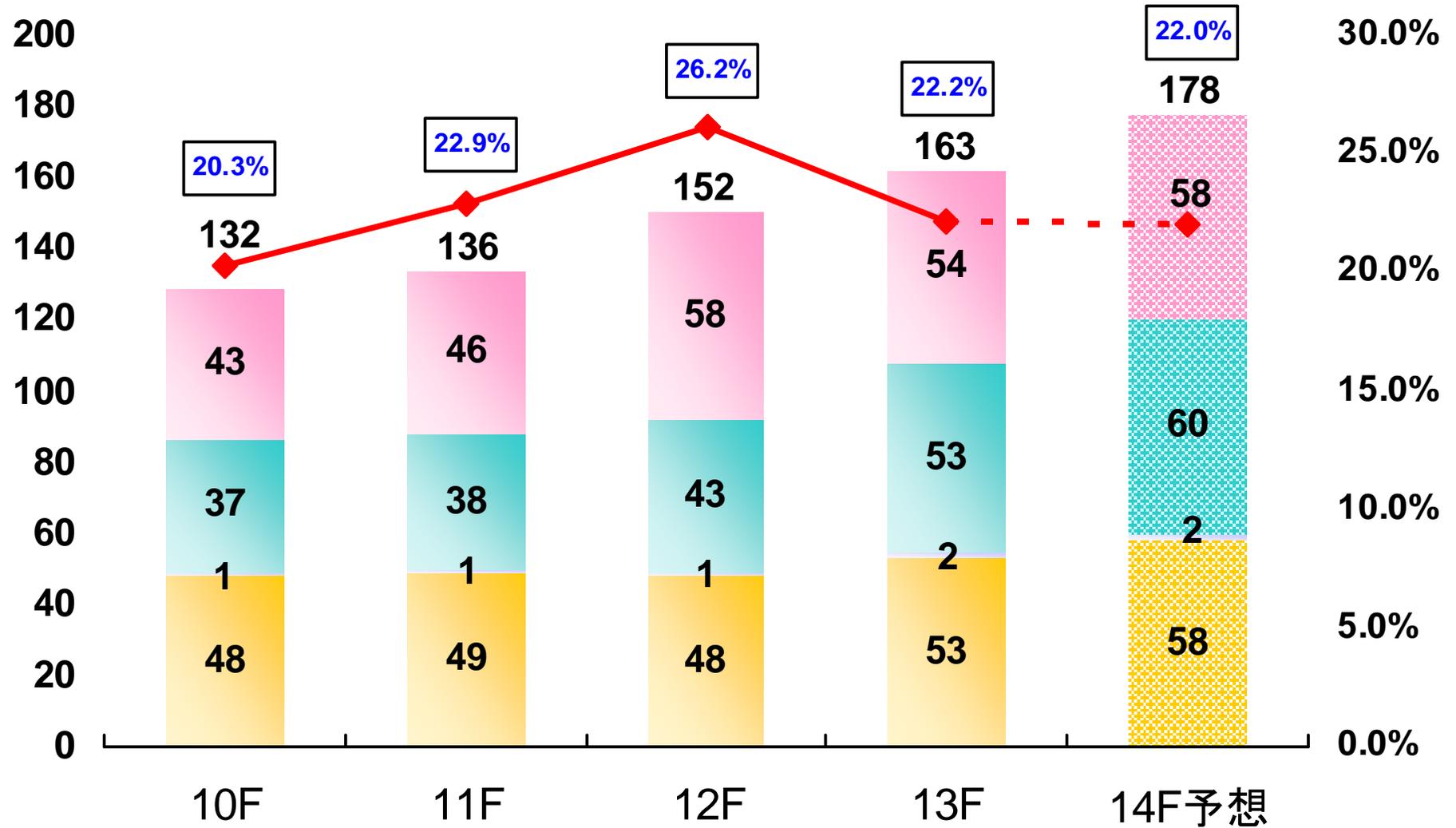
ROA(総資産経常利益率): 経常利益 ÷ 総資産(期首・期末平均) ROE(自己資本当期純利益率): 当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均)

DOE(自己資本配当率): 年間配当金総額 ÷ 自己資本(期首・期末平均) EBITDA: 税引前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん等償却費+減損損失

販売費及び一般管理費推移

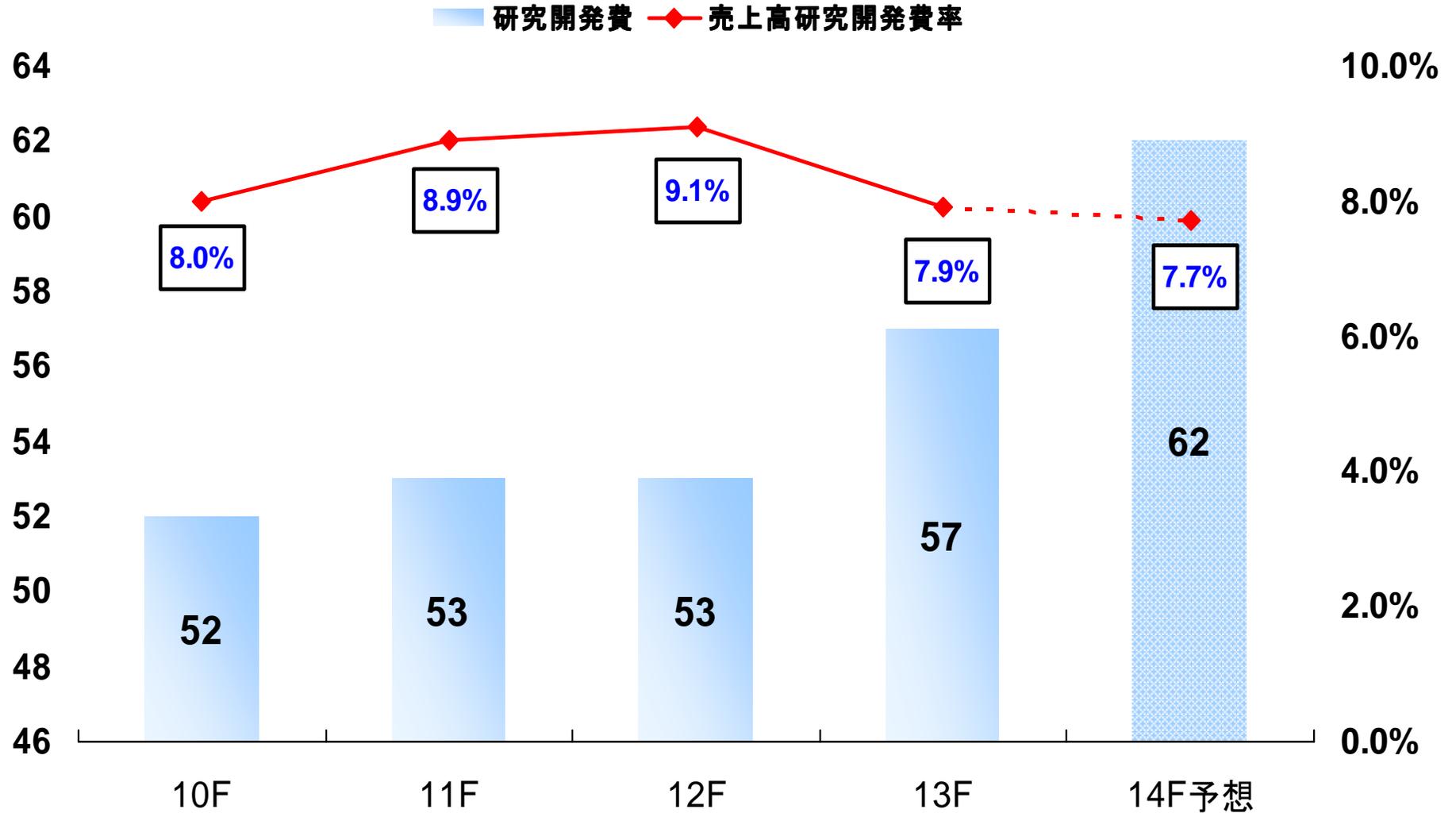
(億円)

■ 研究開発費
 ■ のれん等償却
 ■ 人件費
 ■ その他販管費
 ◆ 売上高販管費比率



研究開発費推移

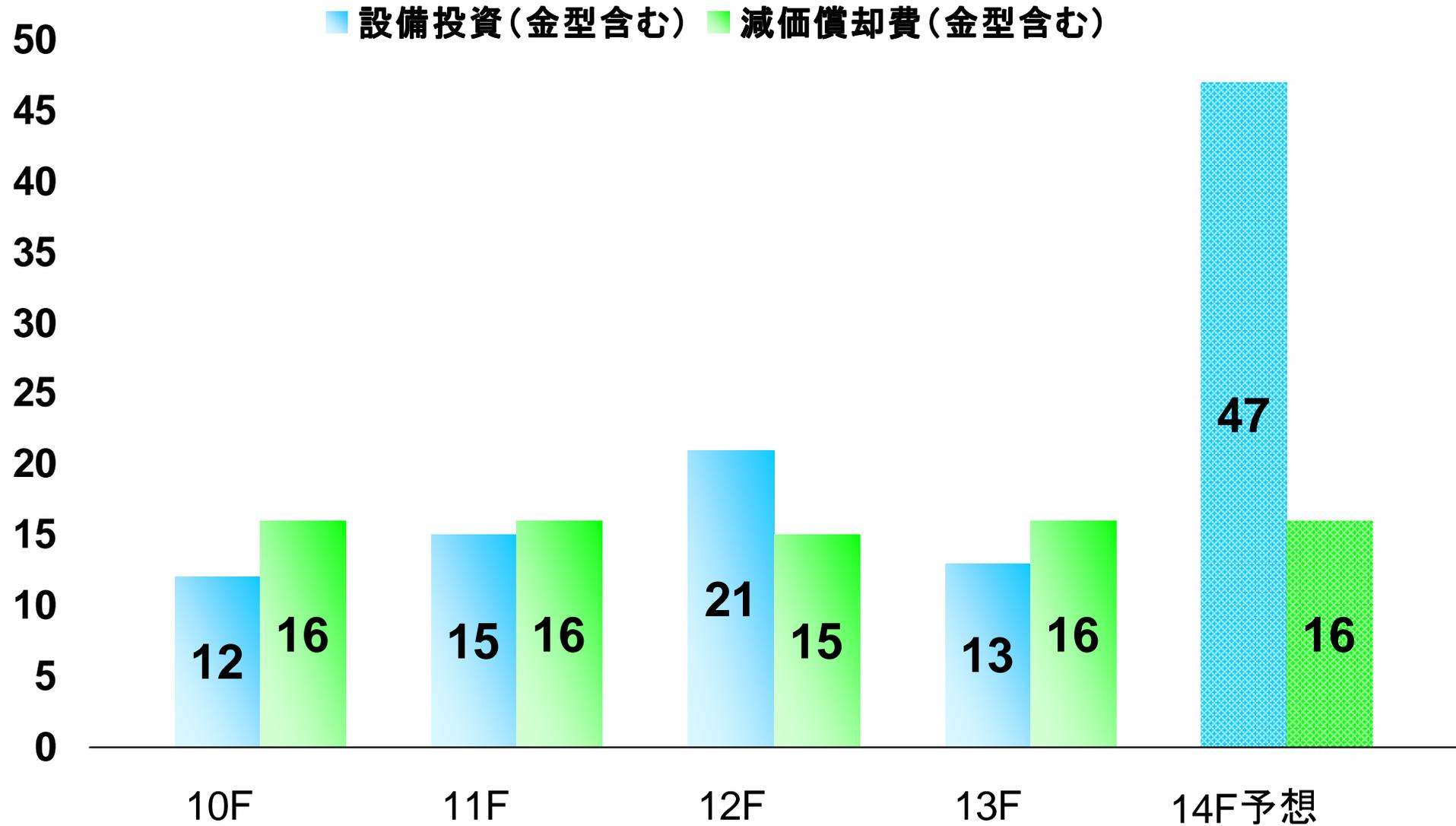
(億円)



※研究開発費は製造費用計上分を含む。

設備投資推移

(億円)



※14F予想:増産用新棟建設を予定(28億円)

比較連結貸借対照表

(百万円)

	13年3月 (前期末)		14年3月 (当期末)		前期末比 増減額
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
現金及び預金	8,138	10.3	7,280	7.9	▲857
受取手形及び売掛金	12,310	15.5	14,883	16.0	+2,572
たな卸資産	20,755	26.2	25,374	27.3	+4,619
その他の	10,827	13.6	14,323	15.4	+3,495
流動資産	52,032	65.6	61,861	66.6	+9,829
有形固定資産	8,062	10.1	8,190	8.8	+128
その他の	19,273	24.3	22,879	24.6	+3,606
固定資産	27,335	34.4	31,070	33.4	+3,734
資産計	79,367	100.0	92,931	100.0	+13,563
買掛金	6,053	7.6	7,198	7.7	+1,144
流動負債	11,947	15.1	15,810	17.0	+3,862
固定負債	5,988	7.5	7,919	8.5	+1,931
純資産	61,431	77.4	69,201	74.5	+7,770
負債・純資産計	79,367	100.0	92,931	100.0	+13,563

(円/株)

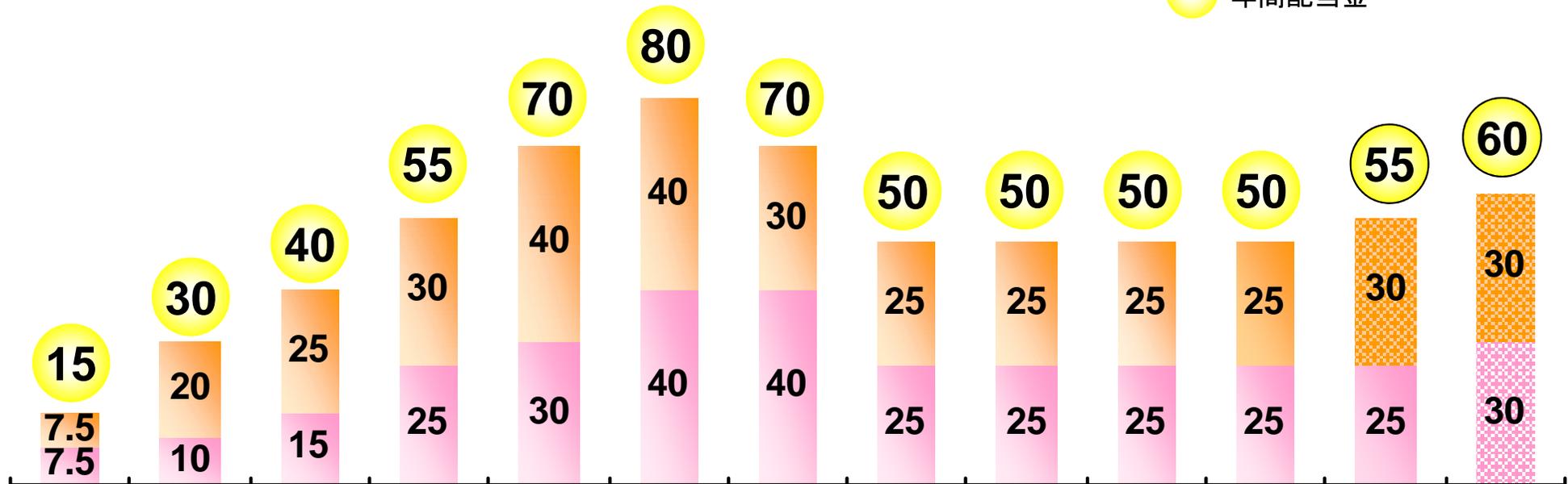
●株主還元方針

- ・事業拡大のための設備や研究開発投資に必要となる内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案の上、株主還元を実施
- ・還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の30%から40%を目標水準とし、それを達成すべく収益基盤を強化

■ 期末配当

■ 中間配当

● 年間配当金



	02F	03F	04F	05F	06F	07F	08F	09F	10F	11F	12F	13F予想	14F予想
配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	23.3%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	23.3%

※ 配当性向は連結ベース 13F期末及び14F配当は予想

※ 自己株買入 2008年/998百万円、2011年/1,661百万円

EIZO株式会社

石川県白山市下柏野町153番地

〒924 - 8566

○お問合せ

担 当 : IR室 出南(でみなみ)

電話番号 : 076-275-4121

www.eizo.co.jp